

アプリケーションカタログ

キノン類の水分

関連業界	:	有機工業品
使用装置	:	カールフィッシャー水分計
測定手法	:	容量滴定法（直接）
関連規格	:	JIS K 0113, ASTM E 203, ISO 760

1. 概要

カールフィッシャー試薬による水分定量は、最も信頼できる水分定量法として、世界中で広く用いられています。国際規格のISOや各国の標準試験法のASTM等、国内ではJISをはじめとする多くの公定法に採用されています。キノンの水分を、JIS K 0113-2005電位差、電流、電量、カールフィッシャー滴定法通則にもとづき、容量滴定法で測定します。

キノン類は、よう化水素酸を酸化して、よう素を遊離する妨害反応を起こします。通常は市販の脱水溶媒KET等のケトン用試薬を用いて、この反応を防ぎながら水分測定を行います。

2. 装置構成

本体	:	容量滴定方式 カールフィッシャー水分計
電極	:	KF 用双白金電極

3. 試薬

滴定液	:	ケムアクア滴定液 TR-5
脱水溶媒	:	ケムアクア脱水溶媒 KET(ケトン用)

4. 測定例

—測定結果—

試料名	試料採取量 g	脱水溶媒	水分値	
			mg	%
1,4-ベンゾキノ	0.1054	KET	0.8811	0.84
α -ナフトキノ	0.2224	KET	0.3110	0.14

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>